

〔第179回明専塾（富士電機）に参加して〕

機器メーカーでの働き方を知る

工学府工学専攻応用化学コースM1 小森 優也



はじめに

令和元年10月18日、戸畑キャンパスにおいて第179回明専塾が開催されました。今回は富士電機のOB、OGの方々に講演していただきました。私が今回の明専塾に参加したきっかけは、研究室のOGの方が富士電機に勤めており、今回、講演を行うというのを聞いたためです。化学系の私が電気機器メーカーで働くとはどういふものか明確なイメージを持つことができなかったため、実際に働いている先輩方の声を聞いてみたいと思い参加してみたところ、今後の就職活動に活きる充実した内容でした。

講演会

講演していただいた先輩方は、田之上健太氏、本田ともみ氏、竹内千広氏、萬田俊氏の計4名でした。

講演では初めに富士電機の製品紹介をしていただき、電車のドア開閉システムや自動販売機、コンビニ向けカフェマシンなど、身近な様々なところに富士電機製品が使われていることに驚きました。同じ研究室出身の先輩の講演では、エンジニアリングの総指揮を行う技術部という部署で働いており、その業務内容を聞いていく中で、化学系であることなどあまり関係なく、様々な部署で働くことができるのだと感じました。海外出張のお話も聞くことができ、学生時代に英語の勉強をした方がいいと感じました。また、会社の選び方については皆さん共通して、何をやりたいのか、会社の雰囲気と合っているのかを大事にしていたとおっしゃっており、私は何をやりたいの

かということを考えて今後の就職活動を進めていきたいと思いました。



講演会の様子

懇親会

懇親会では、講演会に参加していた多くの学生が参加し、立食形式で食事とお酒を飲食しながら多くのOB、OGの方々と懇談をしました。同じ研究室の先輩も出席なさっていたこともあり、プライベートなことから専門的なことまで気軽に話すことができました。研究室のOGの先輩からは「会社に入ってからには電気電子のことを扱い、大学で学んだ化学を生かす機会があまりなく困惑していたが、自分で必要な分野を学ぶことで会社で必要なスキルを身に着

けることができた」というお話を聞きました。会社に入ってからでも、今、自分が学ばなければいけないことは何かを明確にし、行動に移すことが自分のためであり、また一緒に働く人のためでもあると、改めて感じることができました。



懇親会の様子

おわりに

最後になりましたが、ご多忙の中、私たち学生に講演をしていただいたOBの皆様、ならびにこのような貴重な機会を提供していただいた明専会や教職員の皆様にご心より御礼申し上げます。

（令和元年度10月記）